第1回 観光のしおがま動画コンクール

入選作品紹介

特選「おいしおがま」
制作者：狩野 良介

準特選「『七五三詣』～神無月薫る秋晴れの日～」
制作者：渡邊 拓弥

入選「宮城県塩竈市まち歩き」
制作者：林 万希

入選「"塩竈市"彼女と映像の旅」
制作者：安食 翔

こちらからの“しおがま”もお楽しみください！

第58回観光のしおがま写真コンクール「入選作品」⇒
https://kankoubussan.shiogama.miyagi.jp/contest/?id=12

塩竈の見どころや美味しいものを動画でご紹介 ⇒
https://kankoubussan.shiogama.miyagi.jp/movie/

●お問合せ
塩竈市観光物産協会 / TEL 022-364-1165 (平日／9:00～16:00)

第1回 観光のしおがま動画コンクール 入選作品紹介

「令和３年度　第１回観光のしおがま動画コンクール」には、計９点の応募がありました。募集期間が一か月半だったにも関わらず、多くの方に応募いただき、本当にありがとうございました。

コロナ禍の中、感染予防対策をしながらの撮影は大変な苦労があったと思われます。それにも関わらず、皆さまが市内のあちらこちらで“塩竈の魅力”を撮影し、応募していただいたことに、本当に感謝いたします。

令和４年１月17日（月）に審査会が行われ、厳正なる審査の結果、下記の皆さまが入賞されました。

入選作品をご覧いただき、塩竈の魅力を感じ、塩竈に遊びに来ていただければ嬉しいです。

今後もさらに充実したコンクールの実施を目指してまいります。塩竈のイベント、風景だけでなく、まちの人々の表情・生活など、皆様の自由な発想でとらえた「しおがま」が撮影されることを楽しみにしております。

《講　評》

◆佐々木審査委員長◆

特選の作品は固定して撮影しているためか、画面に全くぶれがなく、また音も別撮りで入れ込んでいる作業をしており、技術はプロ級でレベルが高いと感じました。

他の作品はところどころぶれがありますが、ぶれを利用した作品があって面白く、見ていると塩竈に行きたくなる作品ばかりでした。

◆加藤審査員◆

第１回目の動画コンクールが開設され、動画部門審査員として初めて審査に参加しました。

１分と短い時間の動画に、ここまで塩竈の魅力をまとめるのは、技術的にも大変難しいことです。応募者の皆様に、塩竈のすばらしい映像を残していただけて、ありがたいなと感じました。

特選・準特選・入選と順位を決めるのは大変難しかったのですが、特選の「おいしおがま」は塩竈の魅力が一番ダイレクトに、誰にでも伝わる作品でした。

《入選作品》

特　選
「おいしおがま」

制作者 / 狩野　良介

制作者コメント / 塩釜の「おい！」の発見。驚き、味覚、投げかけ、ささやきなど、たくさんの「おい」を連呼することで、塩釜の魅力を表現しました。

準特選
「『七五三詣』～神無月薫る秋晴れの日～」

制作者 / 渡邊　拓弥

制作者コメント / 神奈月薫る秋晴れの日。塩釜市内にある母方の実家にて着付けを行い、志波彦神社・鹽竈神社へ七五三詣りに行った家族の記録。そんな『素朴で何気ない日常の一コマ』は家族にとって『大切で温かい日常の一コマ』となりました。

※本作品はコロナウイルス感染予防対策を実施した上で、撮影時にのみマスクを外して撮影しました。

入　選
「宮城県塩竈市まち歩き」

制作者 / 林　万希

制作者コメント / 港、街並み、神社などの雰囲気を通して塩竈の文化や歴史を感じられるようなまち歩き動画を作成してみました。

入　選
「“塩竈市”彼女と映像の旅」

制作者 / 安食　翔

制作者コメント / この映像で塩竈市のことを好きになってもらったり、興味を持ってくれたら幸いです。大人になって改めて行くと昔見た景色とは違う景色で大人の目線で撮影しました。

●主催 / 塩竈市、塩竈市観光物産協会

●後援 /（公社）宮城県観光連盟、河北新報社、読売新聞東北総局、毎日新聞仙台支局、産経新聞社東北総局
朝日新聞仙台総局、ベイウェーブ78.1ＦＭ、ケーブルテレビマリネット

●問合せ先

塩竈市観光物産協会 / TEL 022-364-1165（平日／9:00～16:00）